

娑婆に生まれるありがたさ

宝物館「燈炬殿」館長 大野 照 文

阿弥陀仏は、法蔵菩薩のころ、十方の衆生の救済を本願に、五劫もの長きにわたる修行を成就され、ついに今から十劫という遙か昔に阿弥陀仏と成られたと伝えられている。さて、救済されるべき衆生の住む娑婆、つまり苦しみが多く、忍耐すべき世界の一つが地球であることは間違いないからう。そこで、娑婆としての地球について、私の専門の宇宙地球科学の観点から少し眺めてみたい。

宇宙が始まったのが約138億年前と言われている。そして、地球は、太陽系の成立とともに約46億年前に誕生した。約36億年前、単純な生命が誕生した。やがて、今から約5・4億年前に多細胞の動物が出現、そして、ようやく約30万年前に私たちホモ・サピエンスが生まれた。ただ、私たちの祖先がはっきりと苦しいとか、忍耐すべきと認識できるような分別を身につけたのは、僅か5万年ほど前の事である。言い換えるなら、地球も5万年前にようやく、悩み苦しむ私たちを擁する娑婆となったのである。

阿弥陀仏は、地球が生まれてから娑婆の私たちの救済に至るまで46億年の長きにわたってお待ちいただいたということにはなる。ただし、十方の衆生というからには、十劫という長い期間の間には地球以外の星の衆生の救済もなされてきたと考えるのが筋であろう。そこで、娑婆となり得

る星の条件について考えてみたい。これは、生き物が生まれ、進化することの出来る星の条件を問うことである。

私たちの体の半分以上が水でできている事からも分かるように、生き物の生存には水、しかも水でも蒸気でもない液体の水が必須である。その理由の一つは、液体の水なしには、新陳代謝の化学反応がうまくいかないことである（水を飲むチキンは生きているが、冷凍チキンやスチームチキンは生きていない）。

太陽系に目を転じると、太陽に近いところは、熱すぎて水は蒸気になってしまう。一方太陽から離れすぎると、寒すぎて水は氷になってしまう。このようなわけで、太陽系では、水が常に液体であるのは、地球と太陽の距離を1として0・95〜1・39という狭い範囲に限られることが分かる（この範囲はハビタブルゾーンあるいは、生存可能領域と呼ばれている）。もし、地球の軌道がこの範囲を逸脱することがあれば、その途端に生命は完全に絶滅してしまう。幸い地球は、誕生以来、常にこの範囲内を公転し続けてきた。おかげで、約36億年前に生まれた生命が一度も途切れることなく進化し、その結果地球を娑婆と感ずる私たちが生まれたのである。こうしてみると、宇宙にあまたの星があるといえども、そして、仮に十劫という長い時間があっても、娑婆は滅多に現れないこととなる。

娑婆に生まれなければ、苦しみもなく、また阿弥陀仏の救済の恩恵にも浴することもできない。こういうわけで、私は、宇宙の中でも希有な場である娑婆に生まれさせていただいたことをありがたいと感謝している。

宗 達

宗 達 第一二一九号

真宗高田派宗制七十九条第二項により令和七年五月二十七日第一八二宗議會を召集せらる

令和七年四月三日

法主鈴印

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠

宗 告

宗 告 第一一八五号

来る令和七年五月二十一日午前十一時三十分より宗祖降誕会執行相成る

令和七年四月二日

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠
総 務 中僧都 藤 谷 知 修
総 務 中僧都 弓 削 弘 胤

宗 告 第一一八六号

来る令和七年六月一日第五十八回高田派婦人連合大会執行相成る

令和七年四月二日

宗務総長	大僧都	増田修誠
総務	中僧都	藤谷良知良
総務	中僧都	弓削弘胤

任 免

令和七年四月一日

名古屋別院総代を委嘱する

名古屋別院	糸野和彦
名古屋別院	坂信太郎

令和七年二月一日

真宗高田派檀信徒議会議員を委嘱する

聖徳寺同行	水戸守 寛
-------	-------

名古屋別院評議員を委嘱する

名古屋別院	糸野和彦
名古屋別院	坂信太郎

令和七年三月三十一日

依請解其職	教師検定委員会委員	新 光晴
-------	-----------	------

威儀視察を命ずる	義明寺衆徒	高藤 源樹
----------	-------	-------

教師検定委員会委員を命ずる

輔講	金信 玄昌
----	-------

侍者を命ずる	義明寺衆徒	高藤 善樹
--------	-------	-------

教師検定委員会委員を命ずる(再任)

仏教教育研究センター長

松山 智道

組長交代

令和七年二月二十八日

依請解其職

三重第八組組長

明星 隆文

令和七年三月一日

三重第八組組長を命ずる

常願寺住職

杜多 光照

令和七年三月三十一日

依請解其職

三重第二十四組乙部組長

佐々木立道

依請解其職

愛知第二組組長

伊藤 真道

令和七年四月一日

三重第二十四組乙部組長を命ずる

了性寺住職

藤井 徳雄

愛知第二組組長を命ずる

西光寺住職

友松 順真

住職拝命

令和七年三月二十九日

愛知県名古屋市区鳴海町字本町

万福寺副住職

三井 彰淳

補 万福寺住職

依請解其職

万福寺住職

三井 真淳

福井県福井市味見河内町

補 聖徳寺住職

聖徳寺衆徒

土屋 宗亮

依請解其職

聖徳寺住職

土屋 宗亮

静岡県磐田市見付

補 行泉寺住職

行泉寺衆徒

龍泉 聖順

副住職任命

令和七年二月二十三日

愛知県長久手市早稲田甲
任 宗延寺副住職

宗延寺衆徒

近藤 裕栄

令和七年三月二十九日

三重県津市一身田町
覚桜院 慧風 准上座二等

玉保院衆徒

水沼 慧風

住職代務者

令和七年三月一日

三重県津市白山町山田野

清光寺住職

清原 瑞美

三重県鈴鹿市西玉垣町

知恩院 智徳

准上座格二等

正信寺衆徒

長松 知宏

三重県津市白山町古市
補 千福寺住職代務者

愛知県名古屋市緑区鳴海町字本町
相敬院 妙文 准上座格三等

万福寺衆徒

三井 文子

令和七年三月二十日

三重県松阪市甚目町

善導寺住職

高橋 法雄

三重県鈴鹿市伊船町

至光院 瑠青

准上座格三等

乘願寺衆徒

眞弓 瑠青

三重県松阪市山室町
補 西楽寺住職代務者

三重県鈴鹿市伊船町
至法院 璃空 准上座格三等

乘願寺衆徒

眞弓 璃空

三重県鈴鹿市三日市	見敬院 一珠	院家首席二等	撰取院衆徒	益川珠美代	愛知県名古屋市中区丸の内	海青院 慧道	院家二等	至誠院衆徒	寺部 慧道
三重県亀山市小野町	明学院 晃海	院家一等	真善寺衆徒	轟 晃太郎	岐阜県大垣市内町	大慈院 妙想	院家二等	善教寺衆徒	魯 想乃香
三重県鈴鹿市山本町	明真院 律照	院家一等	西岸寺衆徒	中野 律希	愛知県名古屋市区則武新町	天樂院 円満	老分一等	正信寺衆徒	玉腰まどか
愛知県名古屋市区高針	信楽院 恵真	院家二等	蓮教寺衆徒	三井 恵子	愛知県名古屋市区則武新町	寶樹院 徹照	老分一等	正信寺衆徒	玉腰 徹
岐阜県大垣市内町	響流院 妙香	院家二等	善教寺衆徒	魯 あす香	三重県津市高茶屋	松鼓院 栄輝	老分二等	浄誓寺衆徒	花見 省揮
愛知県名古屋市区高針	安穩院 清和	院家二等	蓮教寺衆徒	三井 和子	福島県南会津郡南会津町井桁	徳千院 妙睦	中老一等	自源寺衆徒	斎藤 睦子
愛知県名古屋市区高針	正定院 随順	院家二等	蓮教寺衆徒	三井 順子	福島県南会津郡南会津町井桁	浄千院 紬希	中老一等	自源寺衆徒	斎藤 紬

三重県伊賀市上野三之西町
白光院 遥華 中老一等

大仙寺衆徒 堤 遥子

静岡県静岡市葵区七間町

浄晃院 眞由 大衆分

浄円寺衆徒 蓮谷真由美

岩手県北上市和賀町横川目

選擇院 智盛 大衆分

選擇寺衆徒 田口 智盛

三重県鈴鹿市徳居町

善覚院 秀啓 大衆分

光善寺衆徒 杉本 啓輔

静岡県静岡市葵区七間町

極慧院 龍空 大衆分

浄円寺衆徒 蓮谷 龍空

静岡県静岡市葵区七間町

愛華院 海妃 大衆分

浄円寺衆徒 蓮谷 海妃

福井県福井市花堂南

浄宝院 浩信 大衆分

福井別院衆徒 友田 浩司

特許法衣

令和七年四月八日

一、桜重色縁金紋五条袈裟

一、松葉重色色衣

一、紫地八藤白大紋差袴着用を許可する

興正寺住職 天白 慎齊

身分堂班

令和七年三月二十四日

列 其身一代堂班 准上座一等

海念寺住職 広海 玄勝

令和七年四月八日

列 其身一代堂班 准上座格二等 准上座格一等

准上座三等

興正寺住職 天白 慎齊

改姓

令和七年二月十七日

静岡県静岡市葵区七間町
蓮谷と改姓する

浄園寺住職 脇村 史人

布教任命

讚佛会

三・一七 晨朝

三・一八 晨朝

三・一九 晨朝

三・二〇 晨朝

三・二一 晨朝

日中

律 師 龍池 宏昭

少 僧 都 山中 真諭

權 中 僧 都 中村 宜成

律 師 水谷 忍英

權 中 僧 都 生桑 崇等

大 律 師 田中 明誠

大 律 師 北島 大道

大 律 師 高島 光憲

少 僧 都 千草 篤昭

三・二二 晨朝

三・二三 日中

三・二四 晨朝

三・二五 日中

三・二六 晨朝

三・二七 日中

三月御影堂常在説教（晨朝）

權中僧都 藤浦 弘導

權少僧都 真置 信海

律 師 隆 妙漈

權中僧都 鷲山 了悟

大僧都 清水谷正尊

權中僧都 栗廼 隆興

權大僧都 島 義忠

小僧都 梅林 久高

律 師 松山 智慧

權大僧都 戸田 栄信

權中僧都 中村 宜成

律 師 田中 明誠

權少僧都 磐城 英嗣

權中僧都 真置 信海

三井 蓮孝

三・八	權中僧都	栗真	光曉
三・九	少僧都	上田	英典
三・一〇	律師	吉尾	真祐
三・一一	律師	富田	健自
三・一二	少僧都	岡	知道
三・一三	中僧都	戸田	恵信
三・一四	律師	隆	妙灑
三・一五	律師	田中	唯聰
三・一六	權中僧都	上杉	祥樹
三・二四	中僧都	南部	義幸
三・二五	大律師	松谷	慧光
三・二六	權大僧都	浦井	宗司
三・二八	中僧都	青木	義成
三・二九	少僧都	上田	英典
三・三〇	律師	若林	妙百
三・三一	律師	田中	光明

三月御影堂常在説教(速夜・日中)

三・七	速夜	權少僧都	高藤	英光
三・八	日中	權中僧都	上杉	祥樹
三・九	速夜	權中僧都	栗廼	隆興
三・一〇	日中	中僧都	青木	義成

三・一五 速夜
三・一六 日中

千部法会(日中)

四・六	權中僧都	上杉	祥樹
四・七	律師	隆	妙灑
四・八	權中僧都	田中	明誠

十萬人講法会(日中)

四・九	少僧都	千草	篤昭
四・一〇	律師	若林	妙百

戰没者追弔法会(日中)

四・一一	律師	水谷	忍英
------	----	----	----

四月御影堂常在説教(晨朝)

四・一	大律師	松谷	慧光
四・二	權中僧都	中村	宣成
四・三	權中僧都	生桑	崇等
四・四	中僧都	佐藤	弘道
四・五	權中僧都	田中	明誠
四・六	權大僧都	戸田	栄信

四・七
四・八
四・九
四・一〇
四・一一
四・一二
四・一三
四・一四
四・一五
四・一六
四・一七
四・一八
四・一九
四・二〇
四・二一
四・二二
四・二三
四・二四
四・二五
四・二六
四・二七
四・二八

權大僧都 島 義惠
權少僧都 真置 信海
律 師 富田 健自
權中僧都 栗真 光暎
權中僧都 三井 蓮孝
權中僧都 栗廼 隆興
律 師 松山 智慧
律 師 吉尾 真祐
權中僧都 中村 宜成
少僧都 岡 知道
律 師 田中 光明
律 師 田中 唯聰
律 師 北畠 心淳
大律師 高島 光憲
中僧都 青木 義成
律 師 堤 一真
律 師 隆 妙灑
權大僧都 松田 信慶
大律師 北畠 大道
權大僧都 浦井 宗司
少僧都 上田 英典
律 師 若林 妙百

四・二九 權中僧都 上杉 祥樹
四・三〇 權中僧都 鷺山 了悟

四月御影堂常在説教（逮夜・日中）

四・一五 逮夜 少僧都 山中 真諭
四・一六 日中 權少僧都 高藤 英光

高田慈光院 月例法会

三・一〇、一六、二六 權中僧都 田中 明誠
四・一〇、一六、二六 權少僧都 真置 信海

高田報徳園 月例法会

三・一五 權中僧都 藤浦 弘導
四・一五 少僧都 山中 真諭



敬 弔

次の方々が御往生なさいました。謹んで敬弔の意を表します。
令和七年

三・六 滋賀県高島市勝野

流泉寺前坊守 上野 昭子

三・二十八 三重県亀山市関町新所

誓正寺前坊守 松枝 文子

四・六 三重県四日市市楠町北五味塚

信最寺住職 古江 信明

贈 権大僧都



宗門のお知らせ

平等院殿三年忌御香儀芳名

平等院殿の三年忌に際しましては、高田派御寺院様より鄭重なる御弔慰並びに芳志を賜り有難く厚く御礼申し上げます。お蔭を以ちまして諸法事万端滞りなく如来堂にて厳修させていただきました。ここに御香儀賜りました御寺院様の寺号を記し謝意と共に御礼申し上げます。

なお、御同行・一般の方々よりも御芳志を賜りましたが、宗報への掲載は割愛させていただきました。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

京都別院
神戸別院
関東別院
横浜別院乗願寺
三重第一組西部
智慧光院

三重第二組甲部東
信行寺 満願寺

三重第二組甲部西
浄光寺

三重第二組乙部
願正寺

三重第三組

本徳寺 光澤寺

三重第四組

善休寺 慈相寺

三重第五組

仲安寺

三重第六組北部

本楽寺 唯称寺

三重第六組東部

法性寺

三重第六組西部

義明寺

三重第八組

迎接寺 明通寺

深正寺

上宮寺

宗門のお知らせ

三重第九組西部

圓淨寺 善福寺

三重第九組東部

普賢寺

三重第十組

延壽寺 常照寺

信蓮寺

因誓寺

寶田寺

三重第十一組東部

西光寺 柳含寺

三重第十一組西部

福專寺

三重第十四組

宝林寺 西林寺

西蓮寺

法光寺

松原寺

三重第十五組

誓信寺 誓昌院

法善寺

三重第十六組北部

海善寺

三重第十七組北部

玉泉寺 一乗寺

西岸寺

三重第十八組

善教寺 興正寺

成満寺

中山寺

三重第十九組乙

願行寺

三重第二十組

大蓮寺 欣淨寺

誓覚寺

三重第二十一組東部

信福寺 真永寺

宣隆寺

三重第二十二組東部

西運寺 見潮寺

三重第二十三組

隨念寺

三重第二十四組甲部東

正念寺

三重第二十五組南部

最勝寺 正法寺

三重第二十六組

本覚寺 光明寺

海念寺

常寶寺

三重第二十七組

妙華寺

三重第二十八組

光明寺

愛知県第九組

松林寺(名古屋)

大阪

大乘寺

福井第二組

稱名寺(立)

北海道

専誠寺 真高寺

報恩講懇志芳名

本年度の報恩講(お七夜)例年通り一月九日より十六日御満座まで御執行成り、念仏相続の喜びを十分に味わう事が出来ました。

ご懇志芳名を左の通りに記載し感謝の意を表します。(二月十四日～三月二十五日受領分)

北海道

願誠寺

第五十回住職補任研修会報告

去る二月二十二日(土)午後より二十三日(日)午前中まで、住職補任研修会が、教師4名参加の下に開催されました。尚、研修内容は次のとおりです。

真宗教義と高田派の歴史 九十分

宗教法人法・寺院規則 六十分

住職道・布教道 九十分

声明 九十分

晨朝参拝・説教聴聞

法式作法 九十分

参拝課業務案内 三十分

現状と課題(座談会) 六十分

以上

第五十八回

高田派婦人連合大会のお知らせ

六月一日(日)十時より御影堂にて婦人連合大会を開催いたします。

式典を行なった後、講師に本願寺派法善寺住職で武蔵野大学名誉教授の山崎龍明先生をお迎えして講演をしていただきます。

昨年は久しぶりに祖師寿表彰を執り行いました。法嗣殿より式章を掛けていただく祖師寿の方々のお姿がとても感動的でした。ぜひ皆さま、お誘いあわせの上ご参加ください。

なお、参加がむずかしい祖師寿該当者の方には、例年通りご寺院様に賞状と記念品をお届けさせていただきます。

令和七年 高田派青年の集い

愛知大会ご案内

六月二十一日(土)～二十二日(日)

本年の高田派青年の集いは、大会テーマを「世代をつなぐ」とし、愛知県にて開催いたします。これからの担う青年僧侶の皆様には是非、ご参加いただきたいと思えます。

二十一日(土)

会場 愛知七組 聖眼寺

講師 本願寺派真行寺住職

貴島信行師

講演「仏事での法話」

二十二日(日)

会場 愛知五組 浄泉寺

講師 大谷派浄専寺住職

安藤 弥氏

講演「高田専修寺の顕智上人」

○お問い合わせ

宗務院内 高田派青年会事務局

(TEL) ○五九一二三二一四一七一

本山行事予定

(五月・六月)

五月六日～八日

第二十三世克禊上人

三十三年忌法会

五月二十一日

親鸞聖人降誕会

六月一日

第五十八回高田派婦人連合大会

六月二十一日～二十二日

高田派青年の集い

六月十五日

真宗高田派仏教保育講座

下付金のお知らせ

令和元年度分院号下付金、及び納骨壇加入下付金を専修寺正味財産に計上いたします。

(令和七年五月三十一日付)

院号冥加金、及び納骨壇加入冥加金の下付金は納入された年度から、五年を経過したものは、専修寺正味財産に計上されるため、交付出来ませんのでご注意ください。

詳しくは宗務院財務課までお尋ね下さい。

真宗高田派共済会のご案内

真宗教学奨学金

真宗高田派の寺族で真宗教学に関する研究心旺盛な者に対して、奨学金を貸与します。

・高等学校生及び真宗各派の専修学院生	月額	2万円	若干名
・大学生及び大学院生	月額	4万円	若干名
・ ”	月額	8万円	”

提出書類：所定の申請書1通、在学証明書1通(学生証の写可)
返済に関する事項を熟知下さい。

奨励金

真宗高田派の僧侶が、定められた学校に入学したときに、奨励金を支給します。

・奨励金 4万円

提出書類：所定の申請書1通、入学証明書又は在学証明書1通
(学生証の写し可、合格通知書は不可)
定められた学校とは、下記に該当する学校及び学科です。

真宗各派の専修学院、私立高田高等学校、大学の真宗学科及び仏
教学科 短期大学の真宗学科及び仏教学科

上記の申請は毎年3月1日から5月末日までに行ってください。
申請に関する事項及び詳細につきましては共済会担当までお尋ね
下さい。

給付及び申請のお問い合わせは、下記の共済会担当まで
お尋ねください。

〒514-0114

三重県津市一身田町2819番地

真宗高田派宗務院内

真宗高田派共済会

電話 059-232-4171

F A X 059-232-1414

人権擁護啓発活動重点項目

- 一、国際時代にふさわしい人権意識を育てよう。
- 一、子どもの人権を守ろう。
- 一、高齢者の人権を尊重しよう。
- 一、病気・部落などによる差別をなくそう。
- 一、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

令和七年四月二十五日印刷
令和七年四月二十五日発行

三重県津市一身田町二八一九番地
電話（〇五九）二三二一四一七一
<http://www.senjui.or.jp>

真宗高田派本山専修寺

発行所 宗務院

振替〇〇一五〇〇一五一九四番

三重県津市一身田町七六五番地

印刷所 相和印刷所

電話（〇五九）二三二二〇七〇

パスワード：T4ka6a8a（半角英数文字です）

令和7年5月1日からのパスワード TA21da61（半角英数文字です）